

## 年頭の御挨拶

辰巳会会長 鈴木治雄

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様にはお元気で新年をお迎えなされたでしょうか、昨年は新型インフルエンザの感染が世界規模で発生し、本会も会員皆様に高齢者が多く心配されましたが乗り切られたご様子で安堵しております。

国内の景気は、昨年の民主党による政権交代がありました。依然として景気回復の兆しが見られない厳しい経済状況が続いています。前政権の高齢者制度は現政権で見直される方針が出されていますが、具体的施策の見えないことでは私達高齢者は自ら生活の防衛をしなければならぬことは実に厳しいことであり、高齢者に優しい政治を望みたいものです。

今年成人式を迎えられた若者は平成時代の生まれになり、昭和の世界大戦そして日本の敗戦、その後のめざましい復興は前進拡大あるのみで経済大国になりましたが、この経済発展が今日の急速な発展を続けている中国に被さる思いがします。平成生まれの新人にこれからの日本を世界の技術立国として託していくの

か、これも政治の舵取り如何に思えます。

鈴木商店の拠点神戸は、平成七年一月の阪神淡路大地震で多くの尊い人命を亡くし、物的にも未曾有の被害を受け、被災者の鎮魂で始めました電飾のルミナリエも昨年末に開催されましたが、今年で十五年が過ぎます。街並み建物は完全に復興した感はありませんが、神戸経済はなかなか活気を取り戻すまでには至っていません。

今は歴史上の鈴木商店ですが、明治・大正の時代に国内経済に大きな影響を及ぼす隆盛をみて昭和の初めに地上から消えた企業に各方面で関心をもち、その上、調査研究をされておられる方々がおられることに本会として感謝の思いです。

辰巳会は、毎年この誌上で申し上げていますが、鈴木商店に縁のある方々で引継がれてきています。鈴木商店が破綻して八十五年になろうかとしていますので、年々縁が遠のくことではありますが、鈴木商店が遺した事象は多様なところに存在しています。企業として、血縁として、ご参加を願っています。

## 全国大会報告

平成二十一年七月十五日(水)／於…ホテルオークラ神戸「メイフェア」

全国大会の開催は例年五月であります。本年も同様に五月十九日の開催としていました。海外での感染が伝えられていた新型インフルエンザが日本国内の発症が確認され、開催日間近になって神戸を中心とした感染者のひろがりから、急遽開催日の前日に延期の連絡をする慌ただしいことになりました。全国大会は春の爽やかな季節に行なわれていますが、本年は突然の出来事で暑い夏の開催になり辰巳会始めてのことになりました。

開会の辞で安東幹事長は、鈴木会長が体調を用心しての欠席になったこと、このあと、今年これまでに亡くなられた会員のご冥福を祈り黙祷しました。また、平成二十五年が金子直吉翁の没七十年祭にあたり、皆さんと共に元気に開催を迎えたい話しをされました。

続いて、太陽鋳工(株)鈴木一誠社長より鈴木会長の近況を述べられ、会長は眼に白内障の異常があり手術されましたが、体はいったって元気であると話されました。また、同会社の業況のことでは、今年は世界的不況の影響を受けて、かなり厳しい業績になる予想を述べられました。

そして、鈴木社長ご家族のことでは双日(株)勤務しているご子息が秋にご結婚されるおめでたいご報告もありました。

松下幹事の会務報告では、前置きでご自身の健康報告を述べられた後に、五月の幹事会を祥龍寺で開催し、昨年六月以後に亡くなられた会員五名を含めた物故者法要を執り行い、過去帳に総氏名一二三名の記載がされていることを報告されました。

懇親の宴になり、高畑宗一様のご発声により一同乾杯をされ会食になりました。

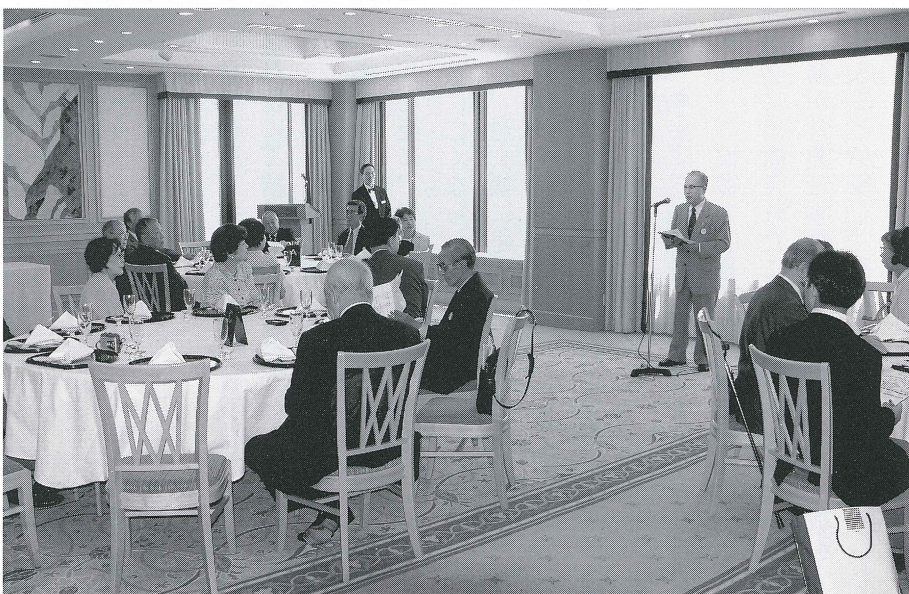
今日は、本会にご支援頂いている双日(株)東京のお二人が出席され、ご挨拶で広報部神子浩二様は自己紹介と東京支部例会に出席されたことを、次に秘書部小林正幸様は担当業務が営業管掌役員秘書され、職務上取引先の企業と接することが多く、それも鈴木商店に関係した企業の多いことを知って鈴木商店の歴史に強い関心を持つようになり、辰巳会をも含め社内の広報活動をされているお話しでした。

引き続き、大塚様は今年これまでの活動をスピーチされ、東京支部辰巳会に初めて出席されたこと、五月に亡くなられた速水優さんの「お別れ会」に出席されて纏わるお話し、また国会図書館憲政資料室を訪ね、金子直吉翁に関する資料を調べた際に後藤新平宛の書簡が七十通以上あり、樟脳、砂糖のことが書されていることに驚かされ、次は後藤新平記念館（岩手県水沢）を訪れることを予定されている。その他に、金子直吉、永井幸太郎について執筆されており、辰巳会の動により鈴木商店の研究が一層広められればとの希望がありました。大塚様が本日出席されている大羽幹夫様を紹介され、大羽様は鈴木商店時代からの播磨造船所が相生市にいかに深い関わりがあるか、現在に遺されている有形無形の話しをされました。

安井裕二郎様のスピーチは、須磨一の谷の金子直吉郎近くに父君が子供の頃住まわっていたことから直吉翁の話を父君より聞かされ、鈴木商店の歴史に興味を持たれた話でした。

最後に安東幹事長の再度のご登壇で、二点を取り上げ、日本の海上自衛隊の装備、新聞の発行部数の減少等で新聞社の大半が赤字であることが伝えられている話でスピーチを締めくくりました。

和やかな歓談で時間を忘れるほどでしたが柳田幹事の閉会の辞となり、皆様元気で来年の再会を約し、記念の写真撮影のあと散会になりました。



### 平成二十一年度 全国大会式次第

平成二十一年七月十五日（水曜日）

ホテルオークラ神戸 三十四階「メイフェア」

司会進行役 金野 事務局

一、開会の辞 安東 幹事長

一、会長挨拶 代理 鈴木 一誠

一、会務報告 松下 幹事

宴

一、乾杯

テーブルスピーチ

一、閉会の辞 柳田 本部幹事

以上

### 平成二十一年度 全国大会御出席者名簿

（敬称略）

平成二十一年七月十五日（水曜日）正午より

ホテルオークラ神戸 三十四階「メイフェア」

安東 浄	楠瀬 正明	松本 一郎
池田 泰雄	鈴木 一誠	森 泰助
王 鞍 延子	鈴木 孝子	矢倉 慎吾
大谷 淳子	高 明	安井 裕二郎
落合 滋	高畑 宗一	柳田 辰巳
小野 晶子	高畑 美紀	
大塚 融	東條 佳子	（事務局）
大羽 幹夫	西岡 義久	金野 和夫
神子 浩二	西岡 嘉子	中谷 尚美
小林 正幸	藤野 欽司	
貴答 恵子	松下 重男	以上 二十九名